

# ヴェーダ

V E D A (ヴェーダとは  
サンスクリット語で  
“癒し”を意味します。)

地域の皆さん向けの広報誌

## 基本理念

わたしたちは、地域の中核病院として  
皆さんの健康を守るために、質の高い医  
療を提供し共に歩みます。

## 基本方針

- 患者さんの人権と権利の尊重
- がん医療、救急医療、生活習慣病を中心とした医療の推進
- 地域の医療保健機関、介護福祉施設との連携強化並びに地域完結型医療の確立
- 職員の働きやすい職場づくり



## “かかりつけ医”を持ちましょう

国民健康保険 小松市民病院  
院長 村上 眞也

大雪だった冬が終わり、すがすがしい陽気となってきました。

さて皆様は“かかりつけ医”という言葉をご存知でしょうか。かかりつけ医とは「日常的な診療や健康に関することを何でも相談でき、必要な時は専門の医療機関を紹介してくれる身近にいて頼りになる医師」のことです。“かかりつけ医”を持つことのメリットは、お住まいに近いため通院しやすく、日頃の皆さんの健康状態を知っていて、体調などに関して何でも相談できるので、医療面で早めの対策がとれますし、入院治療や特殊な検査が必要な場合には、専門家を的確に紹介できることです。

医療機関は連携して地域の医療を守り、切れ目の無い医療を提供しています。まずは“かかりつけ医”を受診していただき、必要に応じて南加賀における急性期医療の中核病院である当院に紹介していただくことで、それぞれの役割を發揮することができます。この地域の“かかりつけ医”・医療機関、介護・福祉施設との連携を円滑に行うため、当院はこの4月に“つながるサポートセンター”を開設しました。“つながるサポートセンター”では退院後も住み慣れた地域で生活するための入退院支援も行います。

ところで病院に勤務する医療従事者の長時間労働・過重労働・過労死が社会的に問題視されています。医療機関の勤務環境改善は「雇用の質」の向上、ひいては「医療の質」の向上、「患者さんの健康」の向上につながります。当院でも最適な労働環境のもと、より効率的かつ質の高い医療の提供ができるよう「院内働き方改革および業務改善」の検討を開始しました。午前の外来診療が長時間にわたり、その後の入院患者さんの処置や手術が時間外になることもあります。市民の皆様が“かかりつけ医”をもってくださり、日常的な診療や健康管理は“かかりつけ医”で、入院での高度医療処置や手術には急性期中核病院をご利用いただければ、医療従事者の働き方改革の一助になります。

職員一丸となりチーム医療を実践し、地域の“かかりつけ医”・医療機関、介護・福祉施設との連携を強化し、安心・安全で質の高い医療の提供に努める所存ですので、市民の皆様のご理解ご協力を宜しくお願ひ申し上げます。



かかりつけ医

# 新任医師紹介

- ① 専門分野・得意分野
- ② 資格（認定・指導医・専門医）
- ③ 趣味・その他
- ④ 市民のみなさんに一言

## 循環器 内科



よし だ たい じ  
**吉田 太治 先生**

- ① 内科・循環器（虚血性心疾患、心不全、ペースメーカー治療）
- ② 日本内科学会 認定内科医
- ③ サイクリング
- ④ 少しでも南加賀地区の医療に貢献できればと思います。心疾患を疑う患者様がいましたらお気軽にご相談下さい。

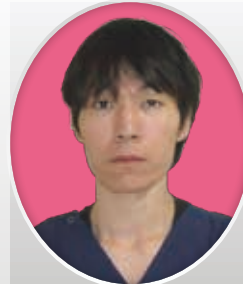
## 呼吸器 内科



こ ば は や と  
**木場 隼人 先生**

- ① 内科・呼吸器
- ② 日本内科学会 認定内科医
- ③ サッカー、ピアノ、マラソン
- ④ 肺癌の最新の治療、研究はいずれもすぐに患者さんのお役に立つことができるようになってきました。積極的な治療を希望される方、呼吸器疾患でお困りの患者様がいましたらお気軽にご相談下さい。

## 消化器 内科



お お む ら ひ と し  
**大村 仁志 先生**

- ① 消化管悪性腫瘍（食道、胃、大腸）の内視鏡検査、治療、肝炎ウイルスの治療、慢性肝炎、肝硬変の管理、治療
- ② 日本内科学会 認定内科医  
日本消化器学会 認定消化器病専門医
- ③ ウィンタースポーツ
- ④ 地域の患者様の健康な生活をサポートできるように精一杯頑張りますので、よろしく願います。

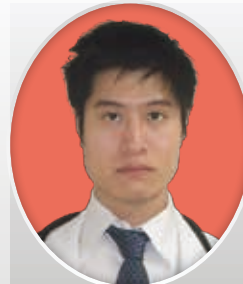
## 内分泌代謝 内科



た か は し と も こ  
**高橋 知子 先生**

- ① 内科・内分泌代謝
- ③ 読書
- ④ 市民の皆様が心身ともに健康な毎日を過ごせるよう尽力いたします。

## 麻酔科



な か た し ょ う  
**中田 翔 先生**

- ① 麻酔科
- ④ 今後共、御指導お願い致します。

## 形成外科



か ど ひ ら み つ ひ ろ  
**門平 充弘 先生**

- ① 形成外科一般（皮膚外科、創傷外科、手外科、顔面外科など）
- ④ 皮膚・皮下腫瘍、外傷（皮膚・顔面・手指など）、熱傷、ケロイド・肥厚性癬痕、眼瞼下垂症・内反症、腋臭症などの皮膚軟部組織疾患を対象とした外科治療を行います。専門性・満足度の高い医療を目指します。

## 形成外科



きの した ふ み や  
**木下 史也 先生**

- ① 形成外科一般
- ③ バスケットボール、スキー
- ④ 専門分野は特にありませんが、幅広く診療できればと思っていますのでよろしく願います。



H.30  
2/16 Fri.

## 第9回 医科歯科合同講演会開催される

2月16日金曜日、17時50分より小松市民病院南館にて地域で開業しておられる医師、歯科医師の方々や当院の医師、歯科医師、看護師、歯科衛生士、放射線技師、検査技師、言語療法士、理学療法士など、がん治療に携わる医療関係従事者を対象に年1回おこなう「口腔がんの勉強会（医療関係者公開講座）」に約40名の有志の方々の参加がありました。

口腔がん症例は、特に進行がんでは、病院と病院の連携で東京医科歯科大学や総合東京病院などで、前腕皮弁、腹直筋皮弁、肩甲骨複合皮弁等の高度な再建術を併用し顎義歯などを用いて摂食嚥下機能の安定を図っています。そのため当院では高齢者や脳神経外科疾患患者の摂食嚥下機能検査と、その後の胃瘻造設が主に行われています。

今回は、昭和大学歯学部口腔リハビリテーション医学部門教授 高橋浩二先生に「大学専門診療科における頭頸部癌治療後の機能障害リハビリテーションの展開」という内容で摂食嚥下障害における嚥下造影（VF）検査と嚥下内視鏡（VE）検査についてその目的を主に講演いただきました。

当施設でも以前より数多くのVE検査やVF検査を行っております。しかし、総合病院におけるVF検査やVE検査が胃瘻造設前の儀式となっており、今後の検査の在り方を見直す必要に迫られています。

高橋浩二先生は、決して目的のない検査をするべきでないと言われました。そして簡便な摂食嚥下障害の検査として頸部聴診法を詳細に話されました。「聴診器を使って嚥下音を確認し誤嚥を防ぐ」と言うことが「治療目的でないVF検査やVE検査に置き換わる方法である。」と結論付けられました。高齢者社会の中で誤嚥をする患者さんとの関わりは毎日の聴診であるというお話には、これからの病院における看護師の役割を示すもので、闇雲に検査のためだけの検査としてVF検査やVE検査をしても意味がないということになり、今後は治療を考慮した計画的な嚥下機能検査を行うように警鐘をうながして講演は終了しました。

その後の質疑応答では、活発な意見があり今後の臨床に役立つ講演会となりました。



（この会を支えていただいております開業医の皆様や院内のスタッフの皆さんに感謝申し上げます。）

（記 歯科口腔外科 田中真也）

## 『医療安全管理室』からのお知らせ

名称が変更になりました

### 医療安全対策室 → 医療安全管理室

医療安全管理室って何をしているところ？



医療安全を確保するために、医療の質の向上と安全な医療を提供することを目指し、安全管理体制を整備しています。

医療事故を防止するために職員一人一人が安全意識を高め、積極的に取り組み、また病院全体として安全管理・事故防止に取り組み医療事故を未然に防止することに努めています。

4月からスタッフが変わりました。



よろしくお願いします。

## 『感染制御室』からのお知らせ

感染制御室です。



感染予防を担当しています。

小松市民病院では、インフルエンザ感染対策として、面会者の制限や、全員マスク着用など皆様のご協力のもと強化することで、院内でのインフルエンザ感染を最小限に食い止めることができました。ご協力いただいた皆様に感謝いたします。

さて、インフルエンザの季節が終わると同時に去年はインドから、今年は台湾から麻疹(はしか)が輸入(日本への持ち込み)され、流行しています。

麻疹に限らず、海外では日本ではみられない感染症の流行があります。

海外旅行を考えている方は、元気に旅を楽しむために、事前の予防接種を検討ください。



海外旅行前のワクチン接種は右記のホームページで検索!

FORTH

FORTH 海外渡航のためのワクチン  
厚生労働省検疫所

[www.forth.go.jp](http://www.forth.go.jp)



## 精神科認定看護師になりました

平成30年に新しく精神科認定看護師となった塚谷大輔つかたにだいすけです。  
名前と顔を覚えていただけたらと思い、自分のことを少しお話させていただきます。

看護師になった直後は一般科で勤務をしました。忙しい業務の中での充実感はありましたが、看護について振り返ることまではできずにいました。その後、精神科病院で11年勤務し、精神疾患に苦しんだり悩んだりする多くの患者さんと出会いました。その中で「お話をすることで少しだけ楽になれた」という言葉をいただいた時に、自分が大切にしたい看護は、患者さんに寄り添う存在であることだと気づきました。小松市民病院の精神科で勤務をしている現在、精神科の病気や苦痛、対処方法などをさらに詳しく学び、患者さんに貢献できたらと考え、精神科認定看護師になることを決意しました。心の病気や症状は、患者さんだけでなく家族や周囲の人も苦しむことがあります。その方々が少しでも楽になれるように寄り添う看護を大切に、サポートする仲間と共に、精神看護に取り組んでいきたいと思えます。



自分で言うのもおこがましいですが、強みは人当たりの良さだと自負しています。人前で話すことは苦手ですが、それを克服できるよう努力を続けていきます。様々な人の「縁の下のちからもち」になるつもりでいます。今後ともよろしくお願いいたします。

### これからの自分の取り組みについて

- \*精神科に関わる困りごとや相談に乗ります
- \*不安や苦痛を少なくするために話を聴くことから心のケアを行います
- \*わかりにくいことがご理解いただけるように講義なども行います
- \*ほかの人の見本となる対応やケアを実践していきます



## 糖尿病教室が

## リニューアルします

小松市民病院では皆様が健やかな生活を送ることができるように、糖尿病についての正しい知識を知っていただきたいと考えております。そのために、患者様やご家族の方、糖尿病について興味関心のある方に広く糖尿病教室に参加していただきたいと思っています。

### ★将来、どのような生活を送りたいと思っていますか？

糖尿病は生活習慣病の代表的な病気です。しかし、適切な食事と運動、薬物療法を行うことで合併症を起こすことなく健やかな生活を送ることができます。

無理のない生活習慣の改善や治療を行い、糖尿病の予防・早期治療を行っていくことで、将来のご自身の生活を素晴らしいものにしませんか！

治療中の方・ご家族の方・病気でなくても気になる方は気軽にご参加ください。

**場 所：**小松市民病院 2階 会議室（案内に沿ってお越しください）

**時 間：**午前10時30分～11時30分

**申し込み：**不要（いずれの日に参加していただいても結構です）

**参加費  
無料**



5月24日	糖尿病とは	医 師
	お口の中 気にしていますか？	歯科衛生士
	糖尿病の検査について	臨床検査技師
6月28日	糖尿病と食事	管理栄養士
7月26日	糖尿病の合併症	医 師
	フットケアについて	看護師
8月23日	運動療法 ～まずは始めてみよう!!～	理学療法士
	糖尿病とお薬	薬剤師



10月25日	糖尿病とは	医 師
	お口の中 気にしていますか？	歯科衛生士
	糖尿病の検査について	臨床検査技師
11月22日	お薬クイズ	薬剤師
	運動療法Q&A	理学療法士
12月27日	糖尿病の合併症	医 師
	自分の足を観察しましょう	看護師
1月24日	なに食べる？どれ食べる？	管理栄養士

※タイトルは変更になる場合があります。



topics  
トピックス

## 緩和ケア病棟イベント

緩和ケアボランティアの声

おひさま 黒田 純子

毎週3回(月、水、金)患者さんやご家族の方々に、喫茶サービスや、お話し相手、囲碁、好きな歌を聴いたり、歌ったりと寄り添う活動を行っております。

希望される方には、個別に、お部屋を訪問して、じっくりと会話を楽しみ、時には人生を振り返り、ミニ人生史や聞き書きの作成も行っています。ラウンジには、季節の飾り付けを行い、四季を感じて頂けるように工夫をしています。

入院生活の励みにして頂ければと、月1回様々なイベントを行っていきます。夏祭りやクリスマス会は病棟スタッフが、毎回嗜好を凝らし、皆様の癒しや楽しみ、思い出になればと願って頑張っていますので、ご家族の方も是非一緒にご参加ください。3月には、温かいウクレレ演奏、4月は、歌で日本の四季めぐりを行いました。

現在、33名のボランティアが、登録しています。参加してみようと思われる方は、7月に、養成講座が行われますので、是非応募して一緒に活動してみませんか。



topics  
トピックス

## 第25回 院内看護研究発表会

平成30年3月10日(土)に第25回「院内看護研究発表会」を開催しました。

「看護研究」を行うことは専門職としての責務といわれています。看護研究を行うことによって科学的根拠に基づく看護を実践し、看護の質の向上を目指しています。

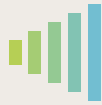
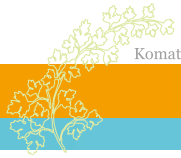
超高齢化社会に突入している現在、急性期病院として日頃より看護行為に対して様々な疑問や葛藤があります。その中で今年は、高齢者看護に関すること、自立支援に関すること、教育に関すること等をテーマに、約1年間かけて研究してきた成果を院内で発表しました。

その後、研究に取り組み苦労したことや達成感について発表し、活発な意見交換を行いました。

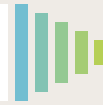
発表のあとは、1年間ご指導頂いた、金沢大学看護学部老年看護学教授の平松知子先生をはじめ、金沢大学医薬保健研究域保健学系の正源寺美穂先生、金城大学看護学部母性看護領域の梶井敬子先生より丁寧なご講評をいただき、ありがとうございました。

現在、院外の学会発表に向け調整中です。





## 医師の診療体制について



昨今、病院に勤務する医師の長時間労働・過重労働・過労死が社会的に問題視されています。当院では、これを念頭におき、医師が最適な労働環境のもと、より効率的かつ質の高い医療の提供に努めています。

つきましては、以下の時間帯は、原則として緊急の場合を除き、主治医の対応ができかね、日直・当直の医師が対応する場合がありますので、皆様のご理解ご協力をお願い申し上げます。

### 対象時間

【平日】

17時15分～翌8時30分

【土曜・日曜・祝日】

8時30分～翌8時30分

また、医師は各種の診療業務を効率的かつ効果的に、全患者様へ公平に行っていますが、限られた時間の中で対応せざるを得ないため、診療等に関する説明の時間は、診療時間内（8時30分～17時15分）もしくは医師の指定する時間に合わせてくださるようご協力願います。

職員一丸となりチーム医療を実践し、安心・安全で質の高い医療を提供いたしますので、皆様のご理解ご協力をお願い申し上げます。



## 編・集・後・記

何十年ぶりかの大雪のあと、春の桜も雨の嵐で一瞬にして過ぎ去ってしまい、少々残念でしたが、フジ、ツツジ、アジサイと夏に向かって、色とりどりの花が咲き、私たちを楽しませてくれます。

まだまだインフルエンザや麻疹の予防対策が必要ですが、寒暖の差に衣服で上手く対応し、これから迎える梅雨に備えましょう。  
(山本)



国民健康保険 小松市民病院

〒923-8560 石川県小松市向本折町ホ60

TEL(0761)22-7111(代) FAX(0761)21-7155

URL <http://www.hosp.komatsu.ishikawa.jp/>

E-mail [cbsomu@city.komatsu.ishikawa.jp](mailto:cbsomu@city.komatsu.ishikawa.jp)